

学部：ビジネス情報学部

学科：スポーツ健康マネジメント学科

役職：教授

氏名：竹内 成生 (たけうち しげき)



J-GLOBAL ID: [202101019904489871](#)

researchmap: [R000024574 \(教員の詳細情報リンク\)](#)

最終学歴・学位等

[最終学歴]

静岡大学大学院 自然科学系教育部 情報科学専攻 後期博士課程 修了 (2024年3月)

[学位]

博士 (情報学) (2024年3月 静岡大学)

修士 (人間科学) (2000年3月 早稲田大学)

学士 (人間科学) (1994年3月 早稲田大学)

主な職歴

2022年4月 上武大学ビジネス情報学部教授

2014年4月 上武大学ビジネス情報学部准教授

2010年4月 上武大学ビジネス情報学部講師

2009年4月 東邦大学医学部 心理学教室客員講師

2006年4月 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 感覚機能系障害研究部流動研究員

2000年4月 早稲田大学メディアネットワークセンター助手

[その他経歴 (非常勤講師等)]

東洋大学 (在職中), 桜美林大学, 大宮医師会看護専門学校, 国立西埼玉病院附属看護専門学校, 早稲田大学人間科学部通信課程, 帝京平成看護短期大学, 千葉県看護協会

担当授業科目

生理心理学, 健康心理学, スポーツ心理学, コンピュータリテラシーA・B, 統計学の基礎, 生理・心理機能測定法, 専門ゼミ, 卒業研究

所属学会等

日本心理学会, 日本健康心理学会, 日本生理心理学会, 臨床神経生理学会, 日本神経科学会

専門・研究領域

[領域]

神経科学 / 体育, 身体教育学 / 実験心理学 (健康・スポーツ 領域)

[研究キーワード]

スポーツ科学, 健康, 経頭蓋刺激, 抑うつ, 事象関連電位

主な論文・著作

[論文]

竹内 成生・関口 浩文・宮崎 真 (2023). 非優位眼のパターン網膜電位コントラストゲインは抑うつ状態を反映する. *生理心理学と精神生理学*, 41(2), 184-196.

吉岡 大貴・高木 優衣・宮城 拓弥・金長 幸希・赤池 早紀・恩田 和征・石澤 恵・堀田 英則・竹内 成生・宮崎 真 (2021). 主観的グレアに伴う神経生理学的応答—事象関連電位による研究—. *自動車技術会論文集*, 52(5), 1006-1012.

Hirofumi Sekiguchi, Kentaro Yamanaka, **Shigeki Takeuchi**, Genki Futatsubashi, Hiroshi Kadota, Makoto Miyazaki, Kimitaka Nakazawa (2021). Acquisition of novel ball-related skills associated with sports experience. *Scientific Reports*, 11(1), 12379-12379.

Makoto Miyazaki, Hiroshi Kadota, Kozue S. Matsuzaki, **Shigeki Takeuchi**, Hirofumi Sekiguchi, Takuo Aoyama, Takanori Kochiyama (2016). Dissociating the neural correlates of tactile temporal order and simultaneity judgements. *Scientific Reports*, 6, 23323-23323.

Shigeki Takeuchi, Hirofumi Sekiguchi, Kozue S Matsuzaki, Makoto Miyazaki (2013). Probabilistic optimization in the human perceptuo-motor system. *The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*, 2(3), 287-294.

[その他論文は researchmap 参照](#)

[その他]

関口 浩文・佐々木 睦・竹内 成生・宮崎 真・二橋 元紀・門田 宏・山中 健太郎・野崎 大地・中澤 公孝 (2022). 脳機能マップの筋間における重複面積が広いほど新規な運動スキル学習は速い. *臨床神経生理学*, 50(5), 448-448.

井田 博史・関口 浩文・竹内 成生 (2022). 牽引解放外乱に応答する代償性姿勢調節 物理現実と仮想現実における検討. *臨床神経生理学*, 50(5), 478-478.

竹内 成生・関口 浩文・宮崎 真 (2022). コントラスト刺激に対する非優位眼の応答はうつ状態と関係する. *臨床神経生理学*, 50(5), 385-385.

[その他業績は researchmap 参照](#)

[共同研究・競争的資金]

抑うつ状態にともなう視知覚の片側性と高次行動の維持・調整機構の解明. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2023年4月 - 2027年3月. 竹内 成生 (研究代表者), 井田 博史, 関口 浩文.

視知覚入力運動出力に与える影響検討 —健常者抑鬱状態による検討—. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2018年4月 - 2023年3月. 竹内 成生 (研究代表者), 井田 博史, 関口 浩文.

[その他競争的資金は researchmap 参照](#)